

太陽光発電設備の導入に関するお知らせ

株式会社メイコーは、かけがえない地球に対する極めて大きな脅威として、温室効果ガス問題を認識しています。脱炭素の取り組みとしては2030年国内CO₂排出量を原単位にて50%削減（2021年比）を目標に、エネルギー起源のCO₂排出量を省エネにより削減するとともに再生可能エネルギーの導入を推進しています。この度、天童工場にPPA（Power Purchase Agreement）方式による太陽光発電電力の導入を決定し、2025年2月より電力供給が開始されました。これにより新たに年間378t-CO₂相当のCO₂削減を見込んでおります。



<天童工場：700kW PPA方式発電設備>

2023年度以来、メイコーはこれまでも福島工場（福島県双葉郡）に太陽光パネル 532kW（▲266t-CO₂相当/年）、石巻工場（宮城県石巻市）383kW（▲214t-CO₂相当/年）、天童工場 170kW（▲59t-CO₂相当/年） の自家消費型太陽光発電設備を新規導入しております。

また、「ソーラーパーク福島」では2015年より発電を開始し現在 3,025kW の規模で年間 1,650t-CO₂（一般家庭880世帯の消費電力量に相当）の発電をおこなっております。これらをあわせるとメイコー全体としては年間 2,567t-CO₂ のCO₂排出量削減に貢献しています。



<福島工場：532kWの自家消費型太陽光発電設備とソーラーパーク福島>



<石巻工場：383kWの自家消費型太陽光発電設備>



<天童工場：170kWの自家消費型太陽光発電設備>